カルダーラ

生誕350年記念プロジェクト

～室内楽コレクション～

《曲目》
アントニオ・カルダーラ作曲
トリオソナタ Op.2-12　シャコンヌ, Op. 2-8, 他
~ Antonio Caldara
Triosonate Op.2-12　Ciaccona, Op. 2-8 ~

2020年 10月25日（日）

開場13：30　開演14：00

小玉安奈：バロックヴァイオリン　　保坂喬子：バロックヴァイオリン
角谷朋紀：ヴィオローネ　　平野智美：チェンバロ

前売り自由席　3,500円
ユース　1,000円（26歳以下、身分証明書のご提示。メールでの取り置きのみとなります。）

《チケットお申込み》
TIGET（チゲット）電子チケット（クレジットカードのみ）、または
お申込みフォーム（銀行振込の方専用）からのお申込みになります。
もしくは出演者に直接お声がけください。
（コロナウイルス感染拡大防止のため、当日受付では現金の取り扱いがございません。
出演者への事前のご精算をお願い申し上げます。）

TIGET（チゲット）　お申込みフォーム

オンライン配信のお知らせ

2020年11月にツイキャスにて演奏会の様子をオンライン配信いたします。
新進気鋭の写真家による素晴らしい動画と、数々のCD録音で多彩な音を聞かせる音響技師による見ごたえのある作品になる予定です！
コンサートを会場でご覧になった方も、「あの作品をもう一度聴きたいな。」とのご要望にお応えします。またコンサートへのご来場が叶わなかったご家族の方も一緒にご自宅でゆっくりとご覧頂けます。

twitcasting
視聴料　2,000 円
（クレジットカード、コンビニ払い等に対応しています。）

作品は公開後 14日間いつでも自由に御覧いただけます。上記オンライン配信は、9月19日から視聴権が販売開始となりました。ぜひご視聴をご検討ください。

横浜市青葉区民文化センター フィリアホール

〒227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台２丁目１-１ 青葉台東急スクエア South-1本館

《会場アクセス》
電車：東急田園都市線　青葉台駅下車、スクエア口改札から直結
お車：駐車場は青葉台東急スクエアの駐車場をご利用ください。
ご来場を心よりお待ち申し上げております。

お問い合わせ　カルダーラプロジェクト実行委員会　caldara2020@gmail.com

アントニオ・カルダーラとは？

アントニオ・カルダーラ（1670～1736）はオーストリアの音楽シーンに大きな影響を与えたイタリア人作曲家。

ヴェネツィアのヴァイオリニストの家庭に生まれ聖マルコ大寺院の聖歌隊員となる傍ら、おそらくジョヴァンニ・レグレンツィのもとでいくつかの楽器を習得。1699年にマントヴァ公フェルディナンド・カルロの招聘を受けマントヴァ公ゴンザーガ家の宮廷楽長となる。1707年にマントヴァがスペイン継承戦争の中オーストリアに併合されゴンザーガ家が没落したため、カルダーラはローマに移りルスポリ大公の宮廷楽長に就任する。1715年ウィーンの宮廷楽長ジアーニが没すると、カルダーラは自らを宮廷楽長または副楽長とするよう神聖ローマ皇帝カール6世に請願書を送り、1716年にウィーンの宮廷副楽長に就任、以降没するまでその地位にあった。

小玉安奈 *Anna Kodama*　バロックヴァイオリン *Barockvioline*

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学にて最優秀の成績で学士を取得し同大学大学院修士ソリスト課程を最優秀にて修了した。在学中はモーツァルテウムオーケストラザルツブルグに研修生として所属。修士終了後は同大バロックヴァイオリン特別科でラインハルド・ゲーベルに師事し研鑽を 積む。コンチェルトケルン、ミュンヒナー・ホーフカペレなどバロックアンサンブルで定期的に演奏しワールドツアー及び多数のCD録音に参加。現在は東京を拠点にバロックヴァイオリン演奏家及び後進指導にあたっている。
http://www.annakodama.info

角谷朋紀 *Tomoki Sumiya*　ヴィオローネ *Violone*

コントラバスの先祖ヴィオローネという楽器で18世紀以前のクラシック音楽を鮮明に甦らせようと日々奮闘している音楽家。各時代に最もふさわしい楽器や弓を選択し、楽譜には書かれていないことも時代背景や作曲家のスタイルから読み取り演奏に活かしている。ウィーンのコントラバスについて研究し、また20世紀に一度失われたローマのガット弦の伝統的な製法についても研究し、自ら演奏するためのガット弦の復元製作にも取り組んでいる。
https://tomokisumiya.weebly.com/

平野智美 *Tomomi Hirano*　チェンバロ *Cembalo*

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁特別派遣芸術家在外研修員としてイギリスに派遣され研鑽を積む。チェンバロを鈴木雅明、N. パールの各氏に師事。第13回国際古楽コンクール<山梨>最高位受賞。2005年文化庁ニューアーティストシリーズに選出される。2017年ソロ CD「<1685> 後期バロックの3巨匠」をリリース、音楽現代推薦盤に選出されるなど音楽誌上で高い評価を受けた。2016年～2018年国立音楽大学非常勤講師。日本チェンバロ協会運営委員。横浜バロック室内合奏団メンバー。

保坂喬子 *Motoko Hosaka*　バロックヴァイオリン *Barockvioline*

桐朋学園大学音楽学部器楽科を卒業後に渡独。ドイツ国立トロッシンゲン音楽大学器楽科、室内楽科、古楽科それぞれの修士課程を最優秀の成績で卒業。ザルツブルグ・モーツァルテウム大学古楽科、ポストグラデュエイト課程修了。清水高師、加藤知子、石井志都子、ヴィンフリード・ラーデマッハー、アントン・シュテック、ミドリ・ザイラーの各氏に師事。南西ドイツフィルハーモニー・コンスタンツの研修生、契約団員を経てフリーランサーとなり、ドイツを拠点として約15年間、初期バロックから現代音楽まで幅広い演奏活動を行い2019年完全帰国。札幌 PMF、ドナウエシンゲン・ムジークターゲ、シュヴェッツィンガー音楽祭、テューリンガー・バッハ週間、バロックフェスト・ザルツブルグ、ザルツブルグ・モーツァルト週間などに出演。アントン・シュテック主宰、L'Orchestre héroique メンバー。